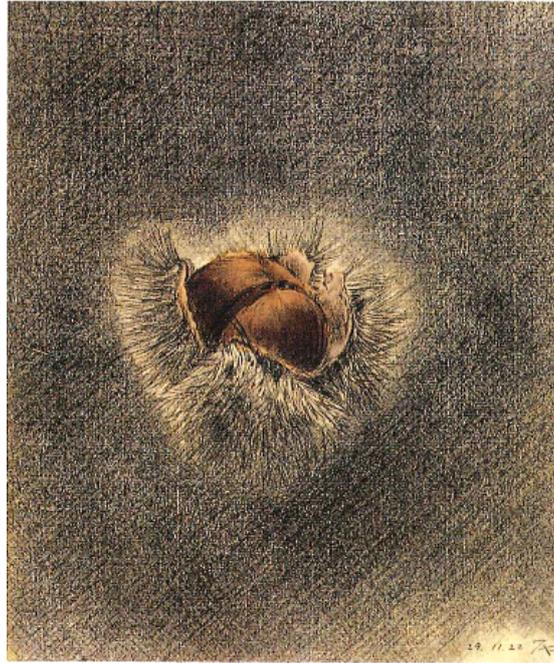


令和元年9月15日発行 鷹山宇一記念美術館友の会
 〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内
 TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/



鷹山宇一 「栗」 1954年 デッサン(コンテ・鉛筆・水彩)

「栗」

「イモ・クリ・ナンキン」プラス「トースト」が若い時の私は苦手だった。ホテルの朝食が「トースト」の時など、ミルクやコーヒーをがぶ飲みしないと胃の中の水分を皆とられそうで、できるだけ和食を選んでいた。しかし父は「芋・栗・南京」が大好きで、茹であがった栗がテーブルに置かれていると一人で食べていた。

歳を取ってから皮むきが面倒になった父は母にその皮むきを頼んでいたが、無精な母は茹でた栗を真中から半分に切りスプーンを添えて父に差し出していた。

ある日父は土産に貰った「天津甘栗」をまねて生栗を五日程天日干しにして真黒になるほど鬼皮を煎り、ご満悦に皮をむいて栗を食べていた。次の日父の親指と人差し指にはバンソウコウが巻かれていた。訳を尋ねると「栗を剥いて火傷をした」と言いバンソウコウを外して私に見せた。気の毒に父のそれぞれの指先には大きな水泡ができていた。悪妻を持ったソクラテスは哲学者になったが平凡な父は、百年の不作のため絵筆が持てず仕事もしないでテレビの前で「秋場所」をずっと観戦していた。

父の救いは血の繋がった孫の壮央が「カボチャ」が大好物で、「憧れの君」が作ってくれた「パンピキンパイ」を冷蔵庫から取り出し、今、愛おしいそうに一口ずつ味わって食べていることだ。

館長 鷹山 ひばり

岩手県立美術館を訪ねて 「ホキ美術館展」写実絵画の魅力

三沢市 中山紀子

8月25日(日)、令和元年度第2回
目の友の会研修旅行に参加しました。
岩手県立美術館「ホキ美術館展」鑑賞
をととても楽しみにしておりました。

会場には既にたくさんの方々が
おられました。2時間たつぷりの自
由時間を設けて下さっており、焦るこ
となく、ゆったり、じっくり作品を堪能
することができました。

入場してまず正面に飾られていたの



岩手県立美術館前にて 「ウィスキー〜パチリ〜」

が森本草介先生の「未来」です。一
番恋いこがれた作品を目の当たりに
し、想像以上の透明感と優しさに引
き込まれ、つい見入ってしまった。
五味文彦先生の「あかいはな」
では、触れると割れてしまいそう
なほど繊細なガラスの表現に息を飲
みました。陰や水は今にも揺らぎそ
うで、虫はたつた今そこに止まった
かのように見えた。

憧れであったこの2作品の前から
後ろ髪引かれる思いで移動しまし
た。また新たな作品との出会いがあ
り、驚きがありました。余りにリア
ルな為か、冷え冷えとした空気を感
じるような作品が多く、蒸し暑い夏
日であることを忘れ、絵の世界に入
り込むような不思議な感覚を味わ
いました。数多くの印象的な作品が
集められており、大変見応えのある
展覧会でした。県美の常設展も久し
ぶりに鑑賞でき、参加して良かった
心から思っております。

因みに、ホテルメトロポリタンで
のランチも最高でした。おしゃれで
美味しいバイキング、ゴムのスカー
トをはいてくれば良かったと後悔し
きりでした。

次回もまた参加したいと、ご案内が
届くのを楽しみにしております。

「感動の旅中欧3カ国周遊・ 美術紀行8日間」II

「第7回友の会海外研修旅行」の一言旅
行記を第95号に続き2、7、8頁に紹
介します。
(敬称略・五十音順)

十和田市 小笠原松雄

初めての海外旅行で、食事や時差ボ
ケは大丈夫か！少し心配でしたが、時
差ボケは少しあつたが、食事は大変美
味しくいただきました。各観光地でガ
イドさんがイヤホンガイドで解説、案
内してくれて、とても良かったです。ウ
ィーン国立オペラ劇場で初めてバレ
ーとオペラを堪能させていただきました。

劇場のきらびやかさと音響の良さ
に驚きました。大変良かったです。次
回も参加させていただきたいです。大
変お世話になりました。ありがとうございました。

七戸町 田中洋子

一度は行って見たかったチエコ、オ
ーストリア、ハンガリーの中欧3カ国。一
番心配だったのは途中で迷子になっ
たら？みんなについていけないのでは？
など。でもみんなの声掛けで心配無
用。どの国も世界遺産、宮殿、美術
館、大聖堂など「おぐらみ」と美しさ
があり、目を見張るばかりでした。あ
まりの美しさに何時間も見ていたい場
所もたくさんありました。

ウィーンでのパレエとオペラ鑑賞は一
生の宝物となりました。楽しく有意義

な時間をありがとうございました。

八戸市 田名部妙子

思いでのベスト3

1. チエコ南部にあるチエスキー・クロ
ムロフの街。渡り廊下の下のアーチをく
ぐり抜けた瞬間、童話、おとぎの国の
中に入り込んだ。そんな気持ち。

2. ウィーン国立オペラ座でのパレエ
鑑賞ではおそらく日本人と思われる
主役ダンサーの抜群に秀でていたパワ
ーに感動。その帰り道ピンクの財布を
スられ、体当たりで取り返したこと。
(今思うとゾオ・・・とする。)

3. ドナウ川のクルーズ「モルダウ」の曲
を聞きながら世界一美しい夜景に浸っ
ていたこと(曲は違っていたようだ。)

七戸町 天間五

初めての中欧3カ国旅行は、とても
楽しいものでした。中世の街並みと最
終日のクルーズの夜景が素晴らしかっ
たです。

美術館も素晴らしかったですが、時
間がもつとゆっくり取れば、もつと良
かったです。いろいろとありがとうございました。
また、機会があれば参加し
たいと思います。



*これが本場のウインナーコーヒー

七戸町立鷹山宇一記念美術館開館25周年記念

「宇一が描いた蝶」

9月22日(日)から11月4日(月)まで美術館開館25周年記念「宇一が描いた蝶展」が開催中です。

生涯にわたって「花と蝶」のモチーフを描き続けた鷹山宇一。本展は、鷹山が描く蝶に焦点を当て、蝶が描かれた鷹山の作品と蝶の標本を展示するという絵と昆虫の世界がコラボした今までにない展覧会となっております。また、鷹山の貴重な蝶コレクションも公開しています。

◆9/21日(土)

開催式&レセプション



テープカットの様子。式典ではピアニスト・西村由紀江さんのサプライズピアノ演奏もあり、25周年記念にふさわしい華やかな展覧会の幕開けとなりました。

→鷹山先生の「蝶」コレクション。蝶の標本やブローチ、自ら図鑑や雑誌を切り貼りして作成したスクラップブックなど、貴重な資料も数多く展示しています。



↑展示の様子。絵と標本を並べて展示しているので、描かれた蝶と標本を見比べることができます。蝶の形や翅の色まで正確に描かれていることがよくわかります。鷹山先生の画家としての姿勢も見てくるようです。

展示の様子を少しだけご紹介します！

展覧会図録完成!



→クラウドファンディングでの皆様のご支援により、展覧会図録が完成しました。作品だけでなく、描かれた蝶を一通一通紹介しています。25年の感謝の気持ちを詰め込みました。ご支援、ご協力いただきました。ご支援、ご協力いただきました。ご支援、ご協力いただきました。ご支援、ご協力いただきました。



↑展示室の様子。今回の展示は壁紙を赤に変えました。いつもと雰囲気の違い空間で作品を鑑賞できます。

「宇一が描いた蝶」

9月22日(日)～11月4日(月・祝)
入館料／一般500円・高大300円
小中100円

休館日／月曜日休館

(但し祝日の場合は翌日休館)

■関連イベント

ギャラリートークのご案内

10月19日(土)

展示解説

鷹山宇一記念美術館研究員

對馬康夫氏

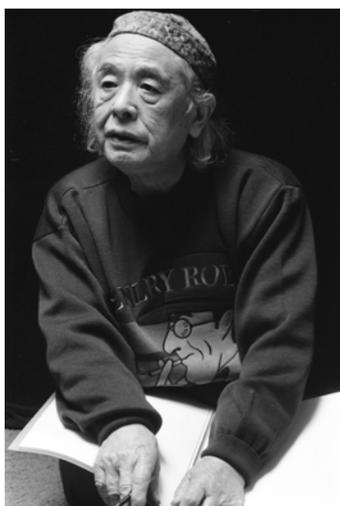
(本展特別協力・日本鱗翅学会会員)

時間 1回目(子ども向け) 10時～

2回目(大人向け) 13時30分～

花だけでは絵にならないんです。動きがないんです。それで絵を回転させ、動かすために蝶を描くようになったんです。

鷹山宇一



Report

模型のタミヤがやってきた Part2
少年の心、今走り出す！

青森放送株式会社との共催による本展は、9月8日(日)、30日間の会期を無事に終了しました。県内外から19,012人ものお客様にお出かけいただきました。今回の展示では、東北初展示となるF1カー「タイレルP34」の実車展示もあり、模型の魅力だけでなく、本物の迫力を間近で感じていただけたのではないのでしょうか。そして、様々な形でたくさんの方々のお力添えを賜りましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

◆8/10日(土)開催式



株式会社タミヤ代表取締役会長 田宮俊作様にご挨拶いただきました。

◆入館者10,000人セレモニー



【8月22日】10,000人目のお客様は青森市からお越しの三浦様親子です。

◆入館者5,000人セレモニー



【8月15日】5,000人目のお客様はおいらせ町からお越しの上久保様とお孫さんの米田君です。



期間中、ミニ四駆教室を開催しました。その詳しい様子は5ページをご覧ください。

◆ミニ四駆工作教室

東北初展示「タイレルp34」



東北初展示となった伝説のF1カー「タイレルp34」は大人気。皆さん熱心に写真を撮っていました。

「マに、ギャラリートーク、講演会、ミニ四駆工作教室の3点セットという充実の内容で、参加された皆さんは熱心にお話を聞いていました。」

◆特別記念講演会

8月31日(土)と9月1日(日)に株式会社タミヤ催事課の新田泰三氏による特別記念講演会を行いました。「プラモデルができるまで」をテ



←タイレル搬入の様子



総入館者数

19,012人

短い会期にも関わらず、多くのお客様にお越しいただきました。そして、様々な形でたくさんの方々のお力添えを賜りましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



↑田宮会長サイン会の様子。ミニ四駆にサインをもらった子どもたちと記念撮影です。



緑・赤・黄色の3種類のミニ四駆から好きなものを選んで作りました。

ミニ四駆工作教室は、8月24日(土)と8月25日(日)の2日間開催しました。1日3回行われ、全ての回が満員でした。

「模型のタミヤがやってきた Part 2」
親子でミニ四駆工作教室

「模型のタミヤがやってきた Part 2」の会期中、「親子でミニ四駆工作教室」を開催しました。





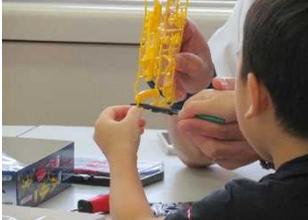

←講師は株式会社タミヤ催事課の新田泰三氏です。初めてミニ四駆を作る参加者にも、わかりやすく、丁寧に教えてくださいました。新田さん、ありがとうございました！

↑最初に新田さんから、ニッパーの使い方を教わる場所からスタート。初めて使う道具にドキドキした様子でしたが、皆さん、上手にニッパーを使って部品を切り取っていました。



↑新田さんの指導を受けながら、難しい作業も自分の力で組み立てようと頑張る子ども達の姿がとても印象的でした。

↑初めてのミニ四駆作り、という子どもさんもいて、最初は戸惑っていた様子も見られましたが、お父さん・お母さんに助けをもらいながら、一生懸命組み立てていました。



↑説明書を確認しながら、説明書と同じ番号の部品を探して、小さな部品を切り外していきます。



←子ども達はすぐに完成したミニ四駆を持って、展示室内に設置したサーキットへ！皆さん、自分で作ったミニ四駆をとても嬉しそうに走らせていて、展示室は子ども達の楽しそうな声で溢れていました。



美術館日誌

7月

- ▼ 2日(火) 渡辺貞一作品貸出・搬出
(遠藤/藤崎町資料館あすか)
- ▼ 5日(金) 渡辺貞一展開催式出席
(遠藤/藤崎町)
- ▼ 6日(土) 渡辺貞一展
ギヤラリートーク
(遠藤/藤崎町)
- ▼ 7日(日) きらく会講演会
(館長/2階工房)
- ▼ 10日(水) タミヤ展打合せ
(株)タミヤ新田氏・
RAB 佐々木氏・青スタ葛西氏
- ▼ 11日(木) 25周年記念展図録打合せ
(長尾印刷)
- ▼ 12日(金) クラウドファンディング
募集開始
- ▼ 13日(土) 八戸学院短期大学客員教授・
二村三千代氏講演会
- ▼ 17日(水) 25周年記念展図録打合せ
(長尾印刷)
- ▼ 20日(土) ちようちよくらぶ標本作り
七彩会
- ▼ 21日(日) 七彩会
- ▼ 24日(水) 絵画審査会出席
(館長/木崎野小学校)
- ▼ 25日(木) 25周年記念展図録打合せ
(長尾印刷)
- ▼ 26日(金) タミヤ展打合せ
(生涯学習課)
- ▼ 29日(月) タミヤ展看板取り付け
(青森スタジオ)
- ▼ 30日(火) 椿展作品撤去
(東京マルイ美術)
- ▼ 1日(木) 25周年記念展図録打合せ
(長尾印刷)

- ▼ 2日(金) 消防定期立入検査
(中央消防署)
- ▼ 5日(月) 25周年記念展図録打合せ
(長尾印刷)
- ▼ 7日(水) 9日(金)
タイレルP34 搬入・設営
(株)タミヤ大石氏・新田氏・RAB 佐々木氏・青森スタジオ葛西氏・生涯学習課
- ▼ 10日(土) タミヤ展開催式
(株)タミヤ



▲(株)タミヤ 田宮俊作会長も静岡からお越しくださいました。8/10,11、9/6,7,8の計5日間、サインや写真撮影に応じて下さいました。



▲クラウドファンディングで、開館25周年記念展の図録を作成!!皆様のお陰で目標金額を達成出来ました。ご協力に心より感謝致します。

- ▼ 13日(火) NHK三沢支局取材(遠藤)
- ▼ 14日(水) 25周年記念展図録打合せ
(長尾印刷)
- ▼ 15日(木) タミヤ展入館者数5,000人
達成セラレモノ
- ▼ 16日(金) 25周年記念展図録打合せ
(長尾印刷)

- ▼ 18日(日) 京都・貞一作品寄贈者
中井昌美氏ほか来館
- ▼ 20日(火) 渡辺貞一作品返却
(遠藤/藤崎町資料館あすか)
- ▼ 21日(水) 藤崎町長来館
- ▼ 22日(木) タミヤ展00人セラレモノ
- ▼ 23日(金) JAF連絡会議出席(館長)
- ▼ 24日(土) ワークショップ
「親子でミニ四駆」



▲(株)タミヤ新田泰三氏による特別講演の様子です。親子で熱心に耳を傾けていました。



▲日本に唯一現存する「タイレルP34」一ヶ月間、タミヤ展の目玉となり、19,012人もの方々が来館下さいました。

- ▼ 1日(日) 特別講演会
「プラモデルができるまで」
講師：(株)タミヤ新田泰三氏
25周年記念展図録打合せ
(長尾印刷)
- ▼ 3日(火) 25周年記念展図録打合せ
(長尾印刷)
- ▼ 6日(金) 8日(日)
(株)タミヤ
田宮俊作会長来館

- ▼ 22日(日) 7戸町民無料デー
- ▼ 26日(木) 第19回鷹山賞審査
審査委員長
濱田進氏来館



▲25周年記念展に華を添える西村由紀江さんによるピアノ演奏が披露されました。



▲いつもと違う展示室の雰囲気の中での開催式となりました。

- ▼ 27日(火) 講師：(株)タミヤ新田泰三氏
クラウドファンディング終了
RABタミヤ展取材(遠藤)
特別講演会
「プラモデルができるまで」
- ▼ 29日(木) 講師：(株)タミヤ新田泰三氏
RABラジオ生中継(遠藤)
- ▼ 31日(土) プラモデルができるまで
- ▼ 9日(月) タイレルP34 搬出
- ▼ 10日(火) タミヤ展作品撤去
七彩会
- ▼ 14日(土) 県南環境保全センター
タンク清掃・点検
- ▼ 17日(火) 25周年記念展
宇一が描いた蝶展開催式
(青森スタジオ)
- ▼ 21日(土) 25周年記念展
宇一が描いた蝶展開催式
西村由紀江
ピアノコンサート

**「感動の旅中欧3カ国周遊・
美術紀行8日間」Ⅲ**
(敬称略・五十音順)

東京都 天間幸代

素晴らしい企画旅行をありがとうございました。

どの街も緑と赤い屋根が大変美しく、歴史的な建造物に圧倒されました。

ブリュッゲルの「バベルの塔」の本物が見られたのが良かったです。

オプシヨンのバレエとオペラも良かったですですが、国立歌劇場で観られたことと自体が素晴らしい経験になりました。

また、このような機会があれば参加したいと思います。本当にありがとうございました。

五所川原 長尾智恵

企画が素晴らしかった。感動しました。時期に恵まれ、どの国も素晴らしかった。緑は生きている(ゲート)好きです。

人間の力のすごさ、過去、現在、歴史的な建造物のまた絵のすごさを十分に味わうことができよかった。

個人的には健康面への希望と配慮をしてくれてとても感謝、感謝です。

人間のエネルギーのすごさ、旅行仲間の絆の深さにも感謝致します。明日に向かってまた頑張ります。ありがとうございました。

弘前市 長尾貞子

鷹山宇一記念美術館友の会感動の旅中欧3カ国周遊8日間の旅。名前のとおり心豊かな旅でした。羽田で3カ国のお金に両替し、どのようになるのか・・・少し不安がありました。

今回、宿が街の中心部で、特にウイーンでは同じ宿に三泊出来、ゆっくりすることが出来ました。ウイーン国立オペラ座でのオペラ鑑賞。指揮者、演奏者、舞台一体となり、間近での見学は肩にしみつくようでした。

3カ国とも宮殿や大聖堂等の建築物、街並み等現在も人が住み、大切に使われていることが驚きでした。食物は、日本人とは

サイズが違ふことを改めて感じました。残したのが勿体ない気持ちでし

た。今回、計画を企画して下さった奥山様はじめ下山様、皆様



*世界遺産チェスキー・クルムロフ遠景

に厚くお礼申し上げます。本当に楽しい感動の旅でした。ありがとうございました。

十和田市 中野久子

すつきりした目覚め、とうとう最終日。日本を出発した日のような気分。朝食、荷物整理。スーパーで買物。シーフードのカップラーメン(頂き物)を食、(出発!!)

プラハに到着するまでは長く、小さな体を持って余したが、到着した国は絵本のようなおとぎの国々。

プラハ、ウイーン、ハンガリー。どの国でも数百年以上も前からの建造物がしつかり立派に鎮座し、王様や王女様が住まわれているような雰囲気。

日本の木造の古い建物も良いが、どちらも好き。時差ボケ、ビール、ワイン等でほろ酔いで居眠りしながらバスでの説明を聞き、ハンガリーのクルーズ、美しい景色(夜景も)が脳に残っているが・・・クリムトの作品、ブリュッゲルの作品にも再度出合い満足。

最高の季節の旅でマロニエ(白・ピンク)、ライラック、ニセアカシア等の花も沢山見られ、おいしい料理を食べ、生きて歩いていたら再度海を渡る旅をしたいなあ・・・。

弘前市 中村昭雄・規和子

認知不足も甚だしいのも程がある。チェコ、ハンガリーといえはソ連時代のそれも共産圏という良くないイメージしかなかった。それが何と今回の旅行で一変した。世界遺産が数多くあるとは聞いてはいたのだが。その壮大で威厳を保っている建造物の多さ。自由に往来している観光客の多さ。言葉では言い表せない。「百聞は一見に如かず」とはこの事であろう。一日で2万歩近いという行程であったが、その価値は十分過ぎるものであった。機会があれば又と思うのだが。年齢が邪魔してくる。アーアー。

東北町 原田恵美子

帰国機の中にて、旅の終わりの記です。

まず、3種類のお金でまごつきました。最後はカードで支払いましたが、カードがこんなに楽なことを実感しました。(まだカードに慣れていませんでしたので。)

ドナウ川の夜景クルーズは美しくウツトリでした。オペラ座がまた素敵でボックス席の前列で全体が見渡せてその場にいる自分が不思議に思えるほどでした。

すべてに感謝です。(バレエは、素晴らしいダンサーの集まりでした。)

東北町 半崎小鈴

8日間の旅、大変楽しく過ごさせて頂きました。特にプラハではビールがとても美味しかったです。

また、ウイーンでの初めてのオペラは感動のルツボでした。大変ありがとうございました。



*ウイーン国立歌劇場でオペラ鑑賞

「感動の旅中欧3カ国周遊」
美術紀行8日間「IV」
(敬称略・五十音順)

つがる市 山口和也

没後五〇〇年、ダメンチガイ三人衆、ラファエロやミケランジェロ。はたまた段違い応挙や若冲より評価が高かった二刀流の武蔵。それは大刀おき筆を持って脳内ジム脳トレのために始めたジグソー文字パズル配球あるいは打「順かえる」と友の会バージョン「スイートラブ追う、ペン宇宙の旅は、タフ。同感」順かえると「中欧ウイーン、プラハ、ブタペスト感動の旅」。ウイーンで没した「ハンガリー舞曲」のブラームス「ブラームスは、お好き」(F・サガン著)。プラハの春は五月晴れ。石畳(は日本にも渋谷駅と109と文化村ザ・ミュージアム)「印象派への旅」で足つぽ庄しマル健脚スタミナなおもて往生スメタナ才能カレナイ橋、ウイーン国立オペラ座内マーラーの風刺画で(そういう問題じゃ)ないカラー画にびっくりビッグなドナウ川ナイト・クルーズに感動。すべて見る「盲目きやしゃな杖音ストラホフ」筆凜道。ペンネーム ふでりんどう

青森市 山田真智子
初海外旅行。絵はがきのような景色の中に身を置き、夢の時間を快適に過ごすことができました。

下山会長、企画の奥山様、添乗員の押切様、現地ガイド。一人の私を気遣

つて下さった参加者の皆様に感謝申し上げます。

足腰を鍛え、次回のご案内を楽しみにお待ちしております。

どうもありがとうございます。

札幌市 山田陽子

プラハ?何という国かしら?から始まった旅でした。

高校の時、さぼっていた地理と歴史にふれて感心したり、感激したりの一週間でした。もう忘れたかも!

目標の一つ、クリムトの「接吻」と一緒に写真が撮れて感動でした。

この旅に参加できて皆様に感謝です。



*クリムト「接吻」パチリ

◎お礼とお知らせ

会員各位のご協力を頂き、鷹山宇一記念美術館開館25周年記念プロジェクト「クラウドファンディング」成立、お礼申し上げます。
鷹山宇一記念美術館初めての「宇一が描いた蝶展」図録を鷹山宇一記念美術館友の会設立25周年記念事業としてお届け致します。どうぞご鑑賞下さい。

新規会員入会お誘いのお願いと

友の会会員登録更新のお願い

平素から会員の皆様には、友の会運営に多大なご理解とご協力をいただき、誠に有り難う御座います。

今後とも鷹山宇一記念美術館の応援をよろしくお願ひ申し上げます。友の会では会員の皆様に喜んで頂けるよう研修旅行、講演会等を企画し、微力ながら地域文化の発展に寄与していく所存で御座います。

なお、更新及び新規入会手続きは美術館窓口と同封の郵便振替により随時行っておりますので、新規会員の勧誘について会員各位のお力添えをお願い致します。

○友の会主催事業概要

- ①県内外美術研修紀行(年2〜3回)
- ②海外美術研修旅行(数年ごとに実施)
- ③美術館作品購入基金への協力
- ④鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤会報(年4回)発行
- ⑥その他(美術講演会の開催等)

○一般会員

年会費 3千円
特典 ①無料入館券3枚。会員証提示により本人入館料2割引き

○特別会員

年会費 1万円
特典 (個人・法人) 年度会費に加えて
①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者1名まで年間無料入館

○賛助会員

年会費 2万円
特典 (個人・法人) 年度会費に加えて
①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者3名まで年間無料入館

◇詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

◎書籍のご案内

- ★新「鷹山宇一画集」
一冊：二千円
+消費税
- ★鷹山宇一素描集
一冊：千円
+消費税
- ★会報合本Ⅱ
一冊：千円
+消費税

☆特別展開催中は、特別展に合わせたグッズを取り揃えております。どうぞご利用ください。

☆お問合せ先
鷹山宇一記念美術館

編集後記

会報作成に当たり研修旅行記等の投稿を頂き、感謝申し上げます。会報も号数を重ね記念すべき第100号発行までのカウントダウンが始まり、作成にあたり皆様の特段のご協力をお願い申し上げます。(照井壽一)